

2021年7月6日

関係各位

長野県山岳協会 国体委員会
委員長 大西浩

2021 長野県クライミング大会結果についての訂正とお詫び

6月13日行われた2021長野県クライミング大会において結果集計について下記の様に誤りがありました。

国民体育大会ボルダリング競技規程の第23条には、ボルダリング順位決定方法については、以下の様になっております。

第23条 各ラウンド終了後、そのラウンドに参加した全選手の個人順位が以下の各基準を適用して決定される。

- (1)当該ラウンドでの完登したボルダラーの数（以下「完登数」という）の降順
- (2)当該ラウンドで獲得したゾーンポイントの数（以下「ゾーンポイントの数」という）の降順
- (3)完登したボルダラーの完登までに要したアテンプト数の合計の昇順
- (4)ゾーンポイント獲得までに要したアテンプト数の合計の昇順

この基準によると、M I 順位において4位とした尾崎麟太郎選手と5位として発表した野本拓見選手については、以下の様になり、ゾーンポイントで上回る野本選手が4位となり、尾崎選手が5位となります。

野本選手 完登2 ゾーン3 完登のアテンプト数3 ゾーンのアテンプト数5

尾崎選手 完登2 ゾーン2 完登のアテンプト数2 ゾーンのアテンプト数2

ルール改正により、競技において現在は課題ごとに一つゾーンが設定されますが、かつては複数のボーナスポイントの設定があり、基準の(2)が「完登したボルダラーの完登までに要したアテンプト数の合計の昇順」(3)が「当該ラウンドで獲得したボーナスポイントの数の降順」となっていたものを、変更しないまま、結果を出してしまいました。

したがって、M I 順位については野本選手を4位、尾崎選手を5位といたします。同時に種別成績についても野本選手を4位、尾崎選手を5位といたします。なお、他の選手につきましても確認いたしましたが、このほかには結果についての変更はありませんでした。

以上の経過をご説明したうえで、関係の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。